

図4. 治験でインスリン導入した症例

多剤併用療法実施中にインスリン グラルギンを追加、急激にHbA1cは改善するものの、その後悪化した例。1日8回の血糖測定で、低血糖を防止するプロトコールだったが、食事が遅れた1回のみ低血糖自覚。自己血糖測定でも低血糖無く、プロトコールに従いインスリン増量した。その結果いつたんは血糖値が改善したが、インスリン増量に伴いコントロールが悪化、体重も増えてしまった。後で詳しく問診してみると、この時期体を動かす仕事が増え、多少間食が増えたかもしれないとのことであった。

